平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 森 明彦	
都整-15 道路新設改良事業		☒ 自治事務	主管課	道路課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬今泉周辺の交通対策のための砂押川沿い道路の歩道整備工事については、前年度からの繰越分を実施し、安全で安心な歩行空間を確保したが、当年度分を年度内に完了できないため、翌年度へ繰越を行った。 ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
--

2 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	174,007	217,409	当初予算(千円)	360,657		
	国県支出金	54,362	79,516	国県支出金	147,180		
	地方債	45,000	40,200	地方債	57,100		
	その他			その他	6,672		
	一般財源	74,645	97,693	一般財源	149,705		
事業運営	人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.9		
	人件費(千円)	12,727	12,787	人件費(千円)	15,699		
	総事業費(千円)	186,734	230,196	総事業費(千円)	376,356		
	市民1人当りの経費(円)	1,052	1,299	市民1人当りの経費(円)	2,128		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

3 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す → ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	平成24年度に策定した道路舗装修繕計画に基づき、改修整備を進めているが、今後道路舗装修繕計画を見直す必要がある。 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	大規模住宅地内の道路や生活道路については、平成24年度に策定した道路舗装修繕計画に基づき、今後も改修整備を行い、適正な維持管理を行う。また、砂押川沿い歩道整備は平成26年度から実施し、本年度も継続して事業を行い、歩行者の安全の確保を図る。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	市内の大規模住宅地内の道路や生活道路は、整備後相当年数が経過し舗装状態が悪いため、市民から補修要望が多く寄せられており、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	関係企業(水道、ガス等)からなる道路調整会議を定期的を開催することにより、相互の工事内容が確認でき、調整を要する日時の短縮を図った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	計画的に事業を行うために、予算確保が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	舗装修繕計画による舗装修繕延長						単位	m	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
事業の目標の一つである舗装修繕の達成状況が確認できるため	目標値	2,073	2,417	2,222	2,223	4,545	4,545	H27-28:2カ年で4,445m H30-34:5カ年で22,725m			
	実績値	2,010	1,542								
	達成率	97.0%	63.8%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---